



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日  
東

上場会社名 河西工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 7256 URL http://www.kasai.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 浩治  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 半谷 勝二 (TEL) 0467-75-1125  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	164,817	△6.7	12,298	△3.5	11,600	△6.9	6,799	△1.1
28年3月期第3四半期	176,724	14.8	12,741	68.5	12,455	63.9	6,876	54.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △781百万円( -%) 28年3月期第3四半期 6,993百万円( 3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	178.36	177.60
28年3月期第3四半期	180.85	179.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	126,150	52,073	36.4
28年3月期	133,501	55,102	35.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 45,872百万円 28年3月期 47,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
29年3月期	—	15.00	—		
29年3月期(予想)				17.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	223,000	△6.3	15,600	△4.7	14,800	△8.2	8,100	△5.2	212.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年3月期3Q	39,511,728株	28年3月期	39,511,728株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	1,284,346株	28年3月期	1,445,330株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期3Q	38,123,125株	28年3月期3Q	38,026,743株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用が堅調さを維持し、個人消費も底堅く、景気は回復基調が続きました。中国では生産・消費の伸びが小幅に縮小しておりますが、鈍化していた投資はわずかに改善が見られ、景気は一部に持ち直しの動きがありました。また、欧州においては英国のEU離脱による不透明感が残るものの、個人消費が回復基調にあり、景気は緩やかに回復しております。我が国経済においては、堅調な雇用・所得情勢を背景に個人消費も持ち直しつつあり、緩やかな回復基調となりました。

当社グループの関連する自動車業界では、米国市場の新車販売が好調を維持し、加えて、中国市場では全体の販売台数が堅調に推移し、欧州市場でも乗用車の販売が堅調さを維持しております。国内市場では軽自動車においては販売が低迷しておりますが、乗用車においては堅調さを維持しております。

このような経営環境の中で、当社グループではグローバルな自動車内装部品メーカーとしての地位を確立すべく、品質の確保、生産性向上と原価低減活動の推進、製品開発力・技術力の強化を図り、海外を含む事業展開を積極的に進めております。これらの活動の成果として、主要得意先で内外装部品としては初めてのグローバル品質賞やプラスチック成形加工学会の「青木固 技術賞」、モノづくり日本会議/日刊工業新聞社が主催する「2016年“超”モノづくり部品大賞（自動車部品賞）」を受賞いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は同期間における為替が円高となったこともあり、1,648億17百万円と前年同四半期に比べ119億7百万円の減収（△6.7%）、営業利益は122億98百万円と前年同四半期に比べ4億42百万円の減益（△3.5%）、経常利益は116億円と前年同四半期に比べ8億54百万円の減益（△6.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は67億99百万円と前年同四半期比77百万円の減益（△1.1%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (日本)

主要得意先の底堅い販売動向により、売上高は491億41百万円と前年同四半期比39億92百万円の増収（+8.8%）となりましたが、立ち上げ準備費用等の負担もあり、セグメント利益は9億79百万円と前年同四半期比1億11百万円の減益（△10.2%）となりました。

#### (北米)

一部車種の生産終了に伴う車種構成の変化や円高による為替の影響もあり、売上高は771億47百万円と前年同四半期比133億39百万円の減収（△14.7%）となりました。セグメント利益は、合理化活動の効果もあり、53億25百万円と前年同四半期比1億65百万円の減益（△3.0%）にとどめることができました。

#### (欧州)

主要得意先の新車立ち上げによる売上高の増加を見込みましたが、円高による為替の影響を受け、売上高は113億96百万円と前年同四半期比4億30百万円の減収（△3.6%）となりました。セグメント利益は、合理化活動の効果もあり、10億82百万円と前年同四半期比1億25百万円の増益（+13.1%）となりました。

#### (アジア)

主要得意先の減産の影響や円高による為替の影響を受け、売上高は271億31百万円と前年同四半期比21億29百万円の減収（△7.3%）となり、セグメント利益は46億31百万円と前年同四半期比9億2百万円の減益（△16.3%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における状況は以下のとおりであります。

#### (資産)

総資産は1,261億50百万円と前連結会計年度末に比べ、73億50百万円の減少（△5.5%）となりました。主な減少は、現金及び預金45億57百万円、有形固定資産36億21百万円であります。

#### (負債)

負債は740億77百万円と前連結会計年度末に比べ、43億21百万円の減少（△5.5%）となりました。主な減少は、短期借入金6億22百万円、未払法人税等7億93百万円、長期借入金20億47百万円であります。

#### (純資産)

純資産は520億73百万円と前連結会計年度末に比べ、30億29百万円の減少（△5.5%）となりました。主な増加は、利益剰余金56億94百万円であり、主な減少は、為替換算調整勘定82億34百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の連結業績予想につきましては、当第3四半期までの業績等を踏まえ、平成28年5月10日に公表致しました予想値を修正しております。また、業績予想の修正に伴い、平成29年3月期の期末配当予想につきましても、平成28年5月10日に公表いたしました配当予想の数値を修正しております。詳細につきましては、本日(平成29年2月7日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,403	10,845
受取手形及び売掛金	27,096	30,009
製品	865	772
仕掛品	7,925	7,856
原材料及び貯蔵品	5,616	4,445
その他	6,264	6,116
貸倒引当金	△124	△77
流動資産合計	63,047	59,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,800	37,625
減価償却累計額	△19,895	△18,985
減損損失累計額	△575	△582
建物及び構築物（純額）	18,329	18,057
機械装置及び運搬具	64,556	58,005
減価償却累計額	△43,804	△40,221
減損損失累計額	△324	△336
機械装置及び運搬具（純額）	20,427	17,447
工具、器具及び備品	27,903	26,158
減価償却累計額	△22,602	△20,725
減損損失累計額	△35	△45
工具、器具及び備品（純額）	5,265	5,387
土地	6,810	6,854
建設仮勘定	8,046	7,509
有形固定資産合計	58,878	55,256
無形固定資産		
のれん	1,233	799
その他	854	796
無形固定資産合計	2,087	1,595
投資その他の資産		
投資有価証券	7,401	7,583
その他	2,094	1,753
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	9,487	9,329
固定資産合計	70,453	66,182
資産合計	133,501	126,150

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,693	25,190
短期借入金	11,007	10,384
未払法人税等	1,797	1,004
賞与引当金	1,759	1,334
その他	12,529	11,916
流動負債合計	51,787	49,831
固定負債		
長期借入金	18,398	16,350
退職給付に係る負債	3,611	3,071
その他	4,600	4,824
固定負債合計	26,611	24,245
負債合計	78,398	74,077
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,821	5,821
資本剰余金	5,339	5,423
利益剰余金	34,516	40,211
自己株式	△610	△542
株主資本合計	45,067	50,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,208	2,609
為替換算調整勘定	1,408	△6,825
退職給付に係る調整累計額	△1,061	△825
その他の包括利益累計額合計	2,555	△5,041
新株予約権	119	106
非支配株主持分	7,360	6,094
純資産合計	55,102	52,073
負債純資産合計	133,501	126,150

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
売上高	176,724	164,817
売上原価	152,290	140,372
売上総利益	24,434	24,444
販売費及び一般管理費	11,692	12,145
営業利益	12,741	12,298
営業外収益		
受取利息	34	120
受取配当金	102	122
持分法による投資利益	130	180
その他	112	149
営業外収益合計	379	572
営業外費用		
支払利息	359	298
為替差損	237	958
その他	68	14
営業外費用合計	664	1,271
経常利益	12,455	11,600
特別利益		
固定資産売却益	8	15
その他	3	—
特別利益合計	11	15
特別損失		
固定資産売却損	18	0
固定資産除却損	18	23
減損損失	294	79
その他	—	0
特別損失合計	331	103
税金等調整前四半期純利益	12,136	11,512
法人税、住民税及び事業税	3,252	3,102
法人税等調整額	628	344
法人税等合計	3,880	3,446
四半期純利益	8,255	8,065
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,378	1,266
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,876	6,799

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	8,255	8,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	289	400
為替換算調整勘定	△1,314	△9,103
退職給付に係る調整額	△56	236
持分法適用会社に対する持分相当額	△180	△381
その他の包括利益合計	△1,262	△8,847
四半期包括利益	6,993	△781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,933	△797
非支配株主に係る四半期包括利益	1,059	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	45,148	90,487	11,826	29,261	176,724	—	176,724
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,659	16	—	997	7,673	△7,673	—
計	51,808	90,504	11,826	30,258	184,398	△7,673	176,724
セグメント利益	1,090	5,491	957	5,533	13,073	△331	12,741

(注) 1. セグメント利益の調整額△331百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (固定資産に係る重要な減損損失)

日本セグメントにおいて、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては294百万円でありま

す。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	49,141	77,147	11,396	27,131	164,817	—	164,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,631	1	9	354	6,996	△6,996	—
計	55,772	77,148	11,405	27,485	171,813	△6,996	164,817
セグメント利益	979	5,325	1,082	4,631	12,019	279	12,298

(注) 1. セグメント利益の調整額279百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (固定資産に係る重要な減損損失)

日本及びアジアセグメントにおいて、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、日本セグメントで54百万円、アジアセグメントで24百万円であります。